

百日咳 の届出数が急増しています！-続報-

全国的に百日咳の届出数が増加しています。和歌山市内においても、3月上旬から届出が増加し、4月中旬までに26件の届出があります。特に4月に入ってから、13件の届出を確認しています。（4月13日時点）。

届出状況は、次のとおりです。

百日咳発生届	件数
令和3年	2
令和4年	0
令和5年	4
令和6年	6
令和7年(4/13まで)	26

年齢分布 7歳～14歳の小学生及び中学生が大半を占めています。なお、重症化リスクの高い乳児症例や入院例の報告はありません。

(N=26)

年齢	0-4歳	5-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
人数	0	10	13	1	1	0	1	0

症状 持続する咳、夜間の咳き込みが多いですが、届出の増加に伴い、百日咳の特徴的な症状（ウープ、スタックカート）もみられます。

(N=26)

症状	持続する咳	夜間の咳き込み	呼吸苦	スタックカート	ウープ	嘔吐
割合	100%	77%	12%	8%	12%	15%

診断方法 LAMP法での診断が増えてきています。引き続き、感度・特異度の高いLAMP法の積極的な活用による検査診断をお願いします。

(N=26)

診断方法	抗体の検出 (単一血清)		ペア血清	抗原の検出	遺伝子の検出		病原体の検出	臨床決定
	PT-IgG	IgM/IgA		イムノクロマト	LAMP法	PCR法	菌培養	
1～3月	4	9	1	0	1	0	0	0
4月	1	2	0	1	6	0	0	1

新学期になり、集団生活が始まっています。現時点では、地域的な偏りや学校等における集団発生、入院例や重症例の報告はありませんが、百日咳は感染力が強く、今後の発生動向を注視しています。つきましては、より正確な百日咳の発生動向把握のため、診断後7日以内に届出をお願いします。また、患者様に対しては、基本的な感染対策（咳エチケット、手洗いなど）のご指導を合わせてお願いします。